

『時事直言』 No.872 2013 年 11 月 18 日

時事直言ホームページ：<http://chokugen.com>

時事直言 携帯サイト：<http://mobile.chokugen.com>

FAX：03-3955-6466



時事評論家 増田俊男

「小冊子」(Vol.51)本日発送開始！

経済と市場の先読みをするには「国際基軸通貨ドルのすべてを知る」ことが必要。また「市場の宿命」と目先の「市場操作」の現実を知ることも欠かせない。

価格操作には金価格のように 2010 年 8 月 30 日から 2013 年 4 月 4 日（日銀の異次元金融緩和発表）の直後までの長期にわたるものから、NY ダウ平均のように本年 10 月 10 日から 11 月 15 日で終了した短期間のものもある。

先週ニューヨークで NY 証券取引所内に最古の店を持つプロ中のプロに会い、又今週は CITY（ロンドン）のプロに会う。次なる市場操作の手口を知るためだ。

「市場の宿命」は「小冊子」(Vol.51)で「ドルのすべて」を知れば分かるが「市場操作」の現実「人のみぞ知る」である。とは言え、市場操作も勝手気ままに行われているわけではない。今は「住宅と消費の成り行き」を見て決めている。

住宅価格が上がれば家計の Equity（含み資産）が増加するから消費が伸びる。

消費が伸びれば消費が 70%を占める GDP も伸びる。

今住宅価格も消費も伸びているからアメリカの第 3 四半期の GDP 速報値は市場の予想 2%をはるかに上回る 2.8%になり、景況感も上昇している。

すでに皆様もご存知の通りアメリカでも日本でも何十億の豪邸や、何億もする宝飾品が飛ぶように売れている。だから「これから始まる価格操作は株価を下げる方向」になる！では何故アメリカ経済の伸びが確実なのに価格操作が下げの方向になるのか。それは、「NY 株価は 100%緩和資金頼り」だから。

豪邸や宝飾品購入に使われる資金は何十年も働いて貯めた資金なのか、それとも相場で儲けたあぶく銭なのか。勿論あぶく銭だ。つまり今あぶく銭と言う名のキャピタルゲインが市場から、すぐに売れない不動産や、売る時は二束三文になる宝飾品に移っているのである。さらに何時であれ FRB が緩和縮小と廃止をすることは決まっている。毎日市場から流出している資金は” River no return！”（帰らざる河＝二度と市場に返ってこない！）だからこれからは市場から資金が減ることはあっても増えることはないのだ！

価格操作とは市場の資金の流れを一定の方向へ加速させることである。

価格操作は市場の当然の流れに逆らうことは絶対にない！

これ以上私は何も言うことはないだろう。

是非「小冊子」(Vol.51)を熟読してこれからの経済と市場の先読みの参考にしてほしい。

増田俊男の「目からウロコのインターネット・セミナー」大好評配信中！

1ヶ月わずか¥1,000！ご契約は1年単位になります

現在大好評配信中！「目からウロコのインターネット・セミナー」！視聴期間はお申込み翌月より 12ヶ月となりますのでお申込み月は無料でご視聴頂けます。詳しいご案内、お申込みについては増田俊男事務所（Tel：03 3955-6686、HP：www.chokugen.com）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前に株式会社増田俊男事務所（Tel.03-3955-6686）までお知らせ下さい。